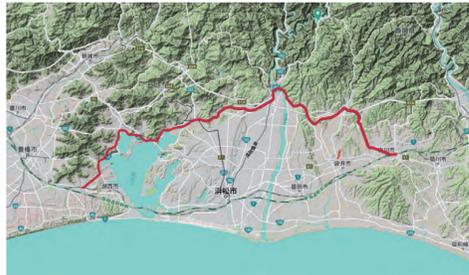


天竜浜名湖鉄道の駅舎利活用

天竜浜名湖鉄道とは



天竜浜名湖鉄道は、東海道本線が太平洋戦争で襲撃を受けた際の避難路として1940年に敷設された旧国鉄の天竜二俣線が転換されたものである。1987年に県と市の共同出資により第三セクター鉄道として再出発した。全長67.7kmの天竜浜名湖鉄道はJRの新所原駅から掛川駅を結んでおり、沿線は都市と田園風景が混在し、車窓からの景色はバラエティに富んでいる。

駅舎の保存・活用

天浜線は国鉄二俣線時代に建設された駅舎が現在でも多く残されておりその数は16件にも上り、その多くが無人駅である。無人駅は治安悪化や老朽化などがデメリットとして挙げられるがこれを解決するために、天竜浜名湖鉄道は駅舎を利用した企画をいくつか提案している。



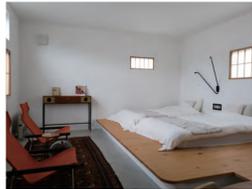
文化財オーナー制度

1口3000円で好きな文化財に出資することが出来る。文化財のオーナーになることが出来る制度。出資された金額は文化財の維持費などに使用され、オーナーは駅前の文化財プレートに出資者として2年間名前が刻まれる。



地域住民による駅維持活動

沿線住民がボランティアで清掃美化活動を定期的に行っている。いくつかの駅舎にはその駅専用の有志団体が発足しており、駅前での朝市やイルミネーションの設置などが行われている。



元事務室の利活用

駅舎の元事務室を貸店舗としてテナントの募集を行い飲食店などへ改修し利活用を行っている。現在では16駅が利活用されておりその多くが飲食店であるが二俣本町駅は「ホテル INN MY LIFE」という宿泊施設を展開するなど珍しいテナントも入居している。

路線全体としての文化財登録



沿線には国鉄二俣線時代の建造物がそのまま残されており全36件が国の登録有形文化財として認定されている。また路線全体としても文化財登録されており、このような事例は他に「わたらせ渓谷鉄道」、「若桜鉄道」の2例しかなく非常に珍しい。

主な文化財



駅舎



上屋



橋梁



転車台



高架貯水槽

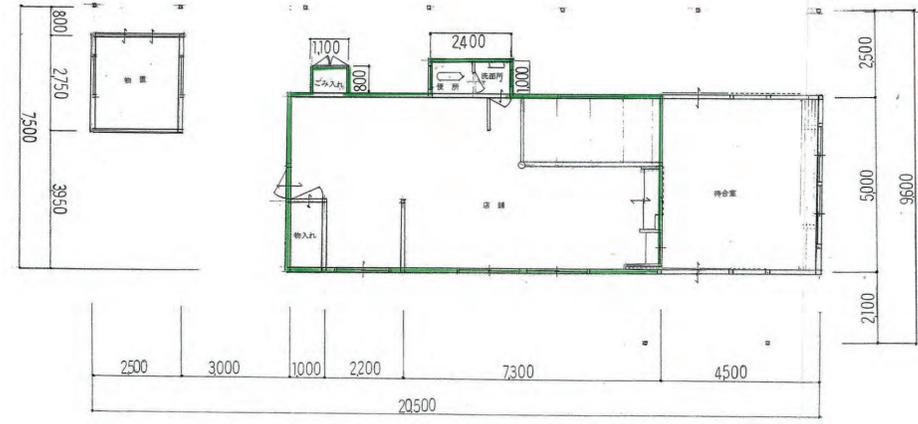


浴槽



運転区事務室

天浜線の駅舎の基本型



宮口駅平面図

二俣線時代に建設された駅舎は現存しているだけで15棟ありどれも木造平屋建ての寄棟造瓦葺で平面の構成も酷似している。駅正面から右側が待合室、左側が事務室・仮眠室で構成されており券照室が待合室側に迫り出している。事務室を改修し利活用した事例は地元住民のみならず県外の観光客にも有名で特に SNS に投稿する目的で訪れる若者が多い。

無人駅舎利活用の事例



西気賀駅「グリル八雲」

1989年から営業している洋食屋で天竜浜名湖鉄道が誕生してから最も長く駅舎をテナントとして利用している。新鮮な魚介や地元の三ヶ日牛を使用したメニューが好評で、多くの著名人も足を運ぶ人気ぶりで店内にはたくさんのサインが飾られている。



都田駅「駅cafe」

地元建設会社である都田建設が沿線住民の要望を聞き入れて設計を手掛けたカフェ。内部はフィンランドの郷土作品であるマリメッコで彩られ、列車の到着を待ちながらコーヒーを飲むことが出来る。SNS映えするということで休日には多くの若者が足を運び天浜線の観光名所となっている。



二俣本町駅「ホテル INN MY LIFE」

「天浜線を使った旅」をコンセプトとした2019年にオープンした宿泊施設。1日1組限定のホテルで宿泊者には天浜線の1日乗車券を進呈し沿線の美食や絶景を楽しんでもらい地元の良い点を県外へと広げていくことを目的としている。県外からの利用者が圧倒的に多く天浜線を県外へと発信するために役立っている。



遠江一宮駅「百々々」

1997年から営業を続ける蕎麦屋。浜松市出身のオーナーが駅舎の雰囲気を感じ入りオープンさせた。メニューはもろ蕎麦のみでシンプルだが多くの客が足を運び、午前中で売り切れとなってしまうほどの人気ぶりである。

無人駅でのコミュニティ調査

天竜浜名湖鉄道の9つの無人駅舎においてのコミュニティ活動を「清掃」「植栽」「展示」「地域住民イベント」「観光案内取り組み」の5つの項目で判断し、地域の駅舎の利活用の傾向を調査した。

エリア	西側					東側				
	駅名	都田駅	浜名湖佐久米駅	西気賀駅	気賀駅	都田駅	二俣本町駅	遠江一宮駅	原谷駅	桜木駅
駅舎基礎情報	写真									
	建築年	1938年	1938年	1938年	1938年	1940年	1956年	1940年	1938年	1938年
	構造規模	木造/1F	木造/1F	木造/1F	木造/1F	木造/1F	木造/1F	木造/1F	木造/1F	木造/1F
	文化財指定	×	×	○	○	×	×	○	○	○
	乗客者数	100人	39人	66人	143人	77人	85人	135人	182人	282人
オーナーへのヒアリング調査	複合年	1992年	1988年	1989年	2005年	2015年	2019年	1997年	2010年	2012年
	用途	パン屋	喫茶店	洋食店	ラーメン屋	喫茶店	宿泊施設	蕎麦屋	公民館	公民館
	前用途	総菜屋	事務室	事務室	事務室	薬局	蕎麦屋	事務室	事務室	事務室
	駐車場有無	有	有	有	有	有	有	有	有	有
	年齢層	50代~70代	60~70代	特になし	特になし	20~30代	20~30代	特になし	70代	70代
地域コミュニティ活動	開業経緯	立地の良さ 駅舎の雰囲気	知人の店舗の引継ぎ	駅舎への思い 天浜線の役に立たないといふ思い	立地の良さ 知人の店舗の引継ぎ	地元住民からの駅舎活性化の依頼	買れた天浜線と地域の役に立たないという思い	田舎で雰囲気のある物件を探していたから 天浜線を守るため	駅の治安、美化を維持し、天浜線、地域を守るため	駅の治安、美化を維持し、天浜線、地域を守るため
	駅舎活用の利点	店舗の認知度が上昇	店舗の認知度が上昇	地元からの認知が上昇	店舗の知名度の上昇	県外からの認知が上昇	県外からの認知が上昇	店舗の認知度が上昇	地域の交流ができる	地域の交流ができる
	駅舎活用の課題点	老朽化	老朽化による雨漏り	老朽化による雨漏り	老朽化による雨漏り	老朽化による雨漏り	一部住民からの苦情	特になし	老朽化による雨漏り	老朽化による雨漏り
	清掃	オーナー	オーナー	オーナー	オーナー	オーナー	オーナー、地元住民	特になし	有志団体、地元小学校	有志団体、地元小学校
	植栽			県、小学校による植栽	花のリレープロジェクト		花のリレープロジェクト	有志団体による植栽	有志団体による植栽	有志団体による植栽
展示				大河ドラマの飾り		デザインイベントの展示	ゆるキャラの人形の展示	有志団体作成の折り紙などの作品が展示	有志団体、地元小学校の書道作品などの展示	
地域住民イベント				ライブ活動	ライブ活動		朝市	コーラス会、折り紙教室	朝市	
観光案内取り組み		11月~3月のカモメが舞上る期間に写真撮影会		観光協会主催のサイクリング事業						

← 商業的な場

→ コミュニティの場

東西での駅のコミュニティ活動の差



遠州鉄道との交換駅である西鹿島駅を起点に路線を東西に分けると無人駅でのコミュニティ活動は大きな差が出た。東側では地域住民が積極的に駅でのコミュニティ活動を行っているのに対し、西側では地域住民を巻き込んでのコミュニティ活動ができていなかった。

東西でのマイルール意識の差



地域の鉄道の重要性を改めて考え直していかうとする考えを「マイルール意識」というが、この考え方が天浜線においては東西で差が出てしまっている。天浜線を今後さらに盛り上げていくためには沿線住民の協力が無くてはならないため「マイルール意識」を取り戻す必要がある。